

アスベストに関する府民アンケートの結果について

大阪府環境管理室事業所指導課大気指導 G

- アンケート名 「大阪府政策マーケティング・リサーチ 2019（おおさか Q ネット）
『アスベスト』に関するアンケート」
- 実施期間 令和元年 8 月 7 日（水）～ 8 月 8 日（木）
- サンプル数 国勢調査結果（平成 27 年）に基づく性・年代・居住地（4 地域）の割合で
割り付けた 18 歳以上の大阪府民 1,000 サンプル

1. 調査目的

大阪府では、アスベスト（石綿）による健康被害が生じることが無いよう、関係業界団体、行政等と連携し、アスベスト飛散防止について取り組んでいる。

平成 30 年の大阪北部地震や台風 21 号により大阪府内では多くの建築物等が損壊した。この時は、アスベスト飛散事例は見られなかったが、アスベスト含有建築物が損壊した場合、周囲へ飛散するおそれがある。

このような事態に備え、現在の建物解体時における飛散防止の規制指導を中心とした取組みに加え、災害時のアスベスト飛散を未然に防止するための取組みを検討することを目的に本調査を実施する。

2. 主な調査（検証）項目

アスベストのイメージやアスベスト問題の認知度は、年代によって差がある。

3. 主な調査（検証）結果

アスベストのイメージについて、18～29 歳の方が、他の年代に比べ、今も注意すべき危険な物質と認識していない傾向にあった。また、30 代の方が、60 歳以上に比べ、今も注意すべき危険な物質と認識していない傾向にあった。

アスベスト問題について、18～29 歳の方が、他の年代に比べ、認知していない傾向にあった。また、30 代及び 40 代の方が、60 歳以上に比べ、認知していない傾向にあった。

アスベスト問題の内容を知っていると答えた人の中では、18～29 歳の方が、他の年代に比べ、アスベストが重篤な疾病の原因となることを認知していない傾向にあった。また、30 代及び 40 代の方が、60 歳以上に比べ、アスベストが重篤な疾病の原因となることを認知していない傾向にあった。

(注)

1. 「おおさかQネット」の回答者は、民間調査会社に登録されたインターネットモニターであり、回答者の構成は無作為抽出サンプルのように「府民全体の縮図」ではない。そのため、アンケート調査の「(参考)単純集計」は、無作為抽出による世論調査のように「調査時点での府民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまる。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
4. 図表中の上段の数値は人数(n)、下段の数値は割合(%)を示す。
5. 図表下にカイ2乗検定の値(p値)を記載しているものは、信頼度5%水準で統計上の有意差がみられたもの。

※本アンケートについては以下の大阪府HPで公表している。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kikaku/mr/oqnet2019.html>

1. アスベストのイメージについて

アスベストのイメージについて、年代等で違いがあるか検証した。

・アスベストという物質に対しどのようなイメージを持っているか、という質問に対して、「過去に問題となり、今も注意すべき危険な物質」を選択した人を【注意すべき危険な物質】とし、「過去に問題になったが、現在はそれほど気にしなくてもいい物質」、「わからない」を選択した人を【気にしなくてもいい物質・わからない】とした。

- 18～29歳の方が、他の年代に比べ、【注意すべき危険な物質】の割合が低かった。
また、30代の方が、60歳以上に比べ、【注意すべき危険な物質】の割合が低かった。
(図表1)

【図表1】

Q1.あなたは「アスベスト(石綿)」という物質に対し、どのようなイメージをもっていますか。

SA

		n	今も過去に注意すべき危険な物質	も現去には問題になったが、	わからぬ	【注意すべき危険な物質】	【気にしなくてもいい物質・わからない】
全体		1000	782	137	81	78.2	21.8
年代	18～29歳	148	80	38	30	54.1	45.9
	30代	149	114	26	9	76.5	23.5
	40代	185	148	23	14	80.0	20.0
	50代	137	112	13	12	81.8	18.2
	60歳以上	381	328	37	16	86.1	13.9

18～29歳と比較 p値=0.00005
18～29歳と比較 p値=0.00000
18～29歳と比較 p値=0.00000
18～29歳と比較 p値=0.00000
18～29歳と比較 p値=0.00000
30代と比較 p値=0.00772

		(n)	注意すべき危険な物質 (%)	気にしなくてもいい物質・わからない (%)
全体		(1000)	78.2	21.8
年代	18～29歳	(148)	54.1	45.9
	30代	(149)	76.5	23.5
	40代	(185)	80.0	20.0
	50代	(137)	81.8	18.2
	60歳以上	(381)	86.1	13.9

2. アスベスト問題の認知度について

アスベスト問題（※）の認知度について、年代等で違いがあるか検証した。

※ アスベスト問題とは

アスベスト建材は、建築材料等に利用されてきたが、病気を引き起こす問題があり、現在使用等が禁止されていること。

2-1 アスベスト問題の認知度 単純集計

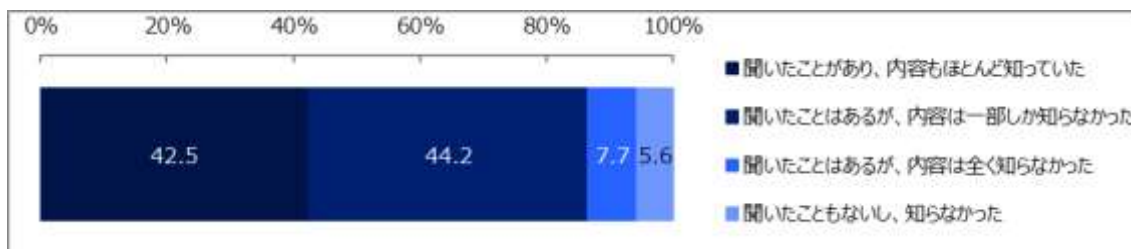
- ◆ アスベスト問題の認知度は、「聞いたことがあり、内容もほとんど知っていた（42.5%）」、「聞いたことはあるが、内容は一部しか知らなかった（44.2%）」、「聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった（7.7%）」、「聞いたこともないし、知らなかった（5.6%）」であった。（図表 2-1）

【図表 2-1】

Q3.あなたは、このアスベスト（石綿）問題（建築材料等に利用されてきたが、病気を引き起こす問題があり、現在使用等が禁止されていること。）を知っていましたか。

SA

	n	%
全体	1000	100.0
聞いたことがあり、内容もほとんど知っていた	425	42.5
聞いたことはあるが、内容は一部しか知らなかった	442	44.2
聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった	77	7.7
聞いたこともないし、知らなかった	56	5.6



2-2 年代とアスベスト問題の認知度との関係性

年代によって、アスベスト問題の認知度に差があるかを分析する。

- ・アスベスト問題について、「聞いたことがあり、内容もほとんど知っていた」、「聞いたことはあるが、内容は一部しか知らなかった」、「聞いたことはあるが、内容は全く知らなかった」を選択した人を【アスベスト問題認知層】とし、「聞いたこともないし、知らなかった」を選択した人を【アスベスト問題非認知層】とした。

- 18～29歳の方が、他の年代に比べ、【アスベスト問題認知層】の割合が低かった。
また、30代及び40代の方が、60歳以上に比べ、【アスベスト問題認知層】の割合が低かった。(図表 2-2)

【図表 2-2】

Q3.あなたは、このアスベスト（石綿）問題（建築材料等に利用されてきたが、病気を引き起こす問題があり、現在使用等が禁止されていること。）を知っていましたか。

SA

		n	内容聞いたことがあり、知っている	内容聞いたことはあるが、知らなかった	内容全く知らなかった	聞いたこともないし、知らなかった	【アスベスト問題認知層】	【アスベスト問題非認知層】	
全体		1000 100.0	425 42.5	442 44.2	77 7.7	56 5.6	944 94.4	56 5.6	
年代	18～29歳	148 100.0	37 25.0	67 45.3	20 13.5	24 16.2	124 83.8	24 16.2	18～29歳と比較 p値=0.00527
	30代	149 100.0	54 36.2	66 44.3	20 13.4	9 6.0	140 94.0	9 6.0	18～29歳と比較 p値=0.00239
	40代	185 100.0	69 37.3	96 51.9	9 4.9	11 5.9	174 94.1	11 5.9	18～29歳と比較 p値=0.00114
	50代	137 100.0	68 49.6	53 38.7	10 7.3	6 4.4	131 95.6	6 4.4	18～29歳と比較 p値=0.00000
	60歳以上	381 100.0	197 51.7	160 42.0	18 4.7	6 1.6	375 98.4	6 1.6	30代と比較 p値=0.00532 40代と比較 p値=0.00427



2-3 年代とアスベストが重篤な疾病の原因となることの認知度との関係性

年代によって、アスベストが重篤な疾病の原因となることの認知度に差があるかを分析する。なお、調査対象は、アスベスト問題について「聞いたことがあり、内容もほとんど知っていた」及び「聞いたことはあるが、内容は一部しか知らなかった」と回答した人 (n=867) である。

- ・アスベストが重篤な疾病の原因となることを認知しているかという質問に対し、「聞いたことがあり、病気の種類(肺がん等)や命に係わることを知っていた」を選択した人を【命に係わることを知っている】とし、「聞いたことはあるが、命に係わる病気につながることは知らなかった」、「アスベスト問題は聞いたことはあるが、病気につながることを知らなかった」を選択した人を【命に係わることを知らない】とした。

- 18~29 歳の方が、他の年代に比べ、【命に係わることを知っている】割合が低かった。また、30代及び40代の方が、60歳以上に比べ、【命に係わることを知っている】割合が低かった。(図表 2-3)

【図表 2-3】

Q4 あなたはアスベストを吸いこむと命に係わる重篤な病気につながるということを知っていましたか。

SA

	n	知(聞いたことがあり、病気の種類と類を)	た(聞いたことがあり、病気の程度が軽くなか)	病(聞いたことがあり、命に係わる)	間(聞いたことがあり、命に係わる)	知(聞いたことがあり、命に係わる)	ア(聞いたことがあり、命に係わる)	ス(聞いたことがあり、命に係わる)	ベ(聞いたことがあり、命に係わる)	ト(聞いたことがあり、命に係わる)	問題(聞いたことがあり、命に係わる)	【命に係わることを知っている】	【命に係わることを知らない】
全体	867 100.0	784 90.4	81 9.3	2 0.2	784 90.4	83 9.6							
年代	18~29歳	104 100.0	77 74.0	25 24.0	2 1.9	77 74.0	27 26.0						
	30代	120 100.0	103 85.8	17 14.2	0 0.0	103 85.8	17 14.2	18~29歳と比較	p値=0.02669				
	40代	165 100.0	149 90.3	16 9.7	0 0.0	149 90.3	16 9.7	18~29歳と比較	p値=0.00039				
	50代	121 100.0	113 93.4	8 6.6	0 0.0	113 93.4	8 6.6	18~29歳と比較	p値=0.00007				
	60歳以上	357 100.0	342 95.8	15 4.2	0 0.0	342 95.8	15 4.2	18~29歳と比較	p値=0.00000	30代と比較	p値=0.00016	40代と比較	p値=0.01351

		(n)	【命に係わることを知っている】	【命に係わることを知らない】	(%)
全体		(867)	90.4	9.6	
年代	18～29歳	(104)	74.0	26.0	
	30代	(120)	85.8	14.2	
	40代	(165)	90.3	9.7	
	50代	(121)	93.4	6.6	
	60歳以上	(357)	95.8	4.2	

3. 住居用建築物におけるアスベスト建材の使用状況の認識

住居用建築物におけるアスベスト建材の使用状況に対する認識についての調査結果を記載する。なお、調査対象は、アスベスト問題を聞いたことがある【アスベスト問題認知層 (n=944)】である。

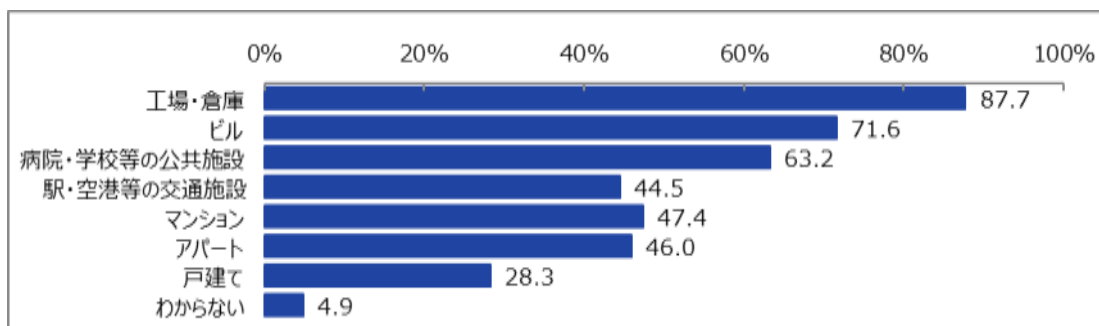
3-1 アスベスト建材が使われていると思う建築物等 単純集計

- ◆ アスベスト建材が使われていると思う建築物等で最も多いものは、「工場・倉庫 (87.7%)」、次いで「ビル (71.6%)」、「病院・学校等の公共施設 (63.2%)」と続いた。
(図表 3-1)

【図表 3-1】

Q5.あなたはどのような建築物等にアスベスト建材が使われている可能性があると考えますか。
あてはまるものを全て選択してください。(いくつでも)

MA	n	%
全体	944	100.0
工場・倉庫	828	87.7
ビル	676	71.6
病院・学校等の公共施設	597	63.2
駅・空港等の交通施設	420	44.5
マンション	447	47.4
アパート	434	46.0
戸建て	267	28.3
わからない	46	4.9



3-2 アスベストに対するイメージの違いと住居用建築物におけるアスベスト建材の使用状況の認識

アスベストに対するイメージの違いによって、住居用建築物におけるアスベスト建材の使用状況に対する認識に差があるかを分析する。

- ・アスベストという物質に対しどのようなイメージを持っているか、という質問に対して、「過去に問題となり、今も注意すべき危険な物質」を選択した人を【注意すべき危険な物質】とし、「過去に問題になったが、現在はそれほど気にしなくてもいい物質」、「わからない」を選択した人を【気にしなくてもいい物質・わからない】とした。
- ・アスベスト建材が使われていると思う建築物について、「マンション」、「アパート」、「戸建て」のいずれか一つでも選択した人を【住居用建物を選択した】とし、いずれも選択しなかった人を【住居用建物を選択していない・わからない】とした。

- ◆ アスベスト建材の使用状況の認識は、【注意すべき危険な物質】の方が、【気にしなくてもいい物質・わからない】に比べ、【住居用建物を選択した】の割合が高かった。
(図表 3-2)

【図表 3-2】

アスベスト建材が含まれている建築物について
SA

		n	【住居用建物を選択した】	【住居用建物を選択していない・わからない】
全体		944 100.0	551 58.4	393 41.6
アスベストのイメージ	【注意すべき危険な物質】	776 100.0	474 61.1	302 38.9
	【気にしなくてもいい物質・わからない】	168 100.0	77 45.8	91 54.2

p値=0.00028

		(n)	【住居用建物を選択した】 (%)	【住居用建物を選択していない・わからない】 (%)
全体		(944)	58.4	41.6
アスベストのイメージ	【注意すべき危険な物質】	(776)	61.1	38.9
	【気にしなくてもいい物質・わからない】	(168)	45.8	54.2

3-3 年代と住居用建築物におけるアスベスト建材の使用状況の認識

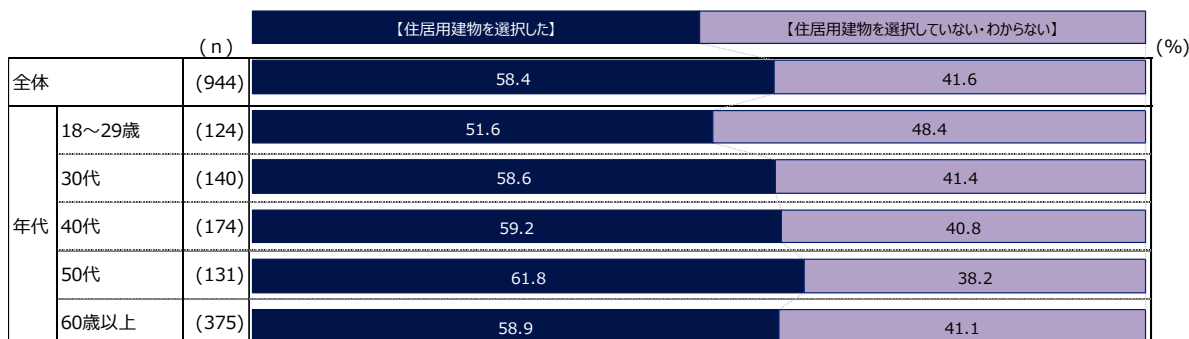
年代によって、住居用建築物におけるアスベスト建材の使用状況に対する認識に差があるかを分析する。

- ◆ 住居用建築物におけるアスベスト建材の使用状況に対する認識については、年代による統計的な有意差はなかった。(図表 3-3)

【図表 3-3】

アスベスト建材が含まれている建築物について
SA

		n	【住居用建築物を選択した】	【住居用建築物を選択していない・わからない】
全体		944	551	393
		100.0	58.4	41.6
年代	18～29歳	124	64	60
		100.0	51.6	48.4
	30代	140	82	58
		100.0	58.6	41.4
	40代	174	103	71
	100.0	59.2	40.8	
	50代	131	81	50
	100.0	61.8	38.2	
	60歳以上	375	221	154
	100.0	58.9	41.1	



4. アスベストのイメージと災害時のアスベスト飛散の可能性に対する意識との関係性

アスベストのイメージと災害時のアスベスト飛散の可能性に対する意識の調査結果を記載する。

・アスベストという物質に対しどのようなイメージを持っているか、という質問に対して、「過去に問題となり、今も注意すべき危険な物質」を選択した人を【注意すべき危険な物質】とし、「過去に問題になったが、現在はそれほど気にしなくてもいい物質」、「わからない」を選択した人を【気にしなくてもいい物質・わからない】とした。

- ◆ アスベストのイメージが【注意すべき危険な物質】の方が、【気にしなくてもいい物質・わからない】に比べ、災害時にアスベストが飛散する可能性について考えたことがある割合が高かった。(図表 4-1)

【図表 4-1】

Q7.あなたは、自宅や周囲の建築物から、災害時にアスベスト（石綿）が飛散する可能性があるということについて、これまで考えたことがありましたか。

SA

		n	考えたことがある	考えたことはない
全体		1000 100.0	463 46.3	537 53.7
アスベストのイメージ	【注意すべき危険な物質】	782 100.0	410 52.4	372 47.6
	【気にしなくてもいい物質・わからない】	218 100.0	53 24.3	165 75.7

p値=0.00000

		(n)	考えたことがある (%)	考えたことはない (%)
全体		(1000)	46.3	53.7
アスベストのイメージ	【注意すべき危険な物質】	(782)	52.4	47.6
	【気にしなくてもいい物質・わからない】	(218)	24.3	75.7

5. 自宅におけるアスベスト建材の使用状況に関する意識

自宅におけるアスベスト建材の使用状況の認知度と自宅の種類等との関係性や、自宅におけるアスベスト建材の使用状況を知りたいと思った経験等の調査結果を記載する。

5-1 自宅の種類と自宅におけるアスベスト建材の使用状況の認知度との関係

・自宅の種類について、「マンション」、「アパート」、「その他」を選択した人を【集合住宅（マンション・アパート等）・その他】とし、「戸建て」を選択した人を【戸建て住宅】とした。

- ◆ 【集合住宅（マンション・アパート等）・その他】の方が、【戸建て住宅】に比べ、自宅でのアスベスト建材の使用状況がわからない割合が高かった。（図表 5-1）

【図表 5-1】

Q11.あなたがお住まいの家にアスベスト建材が使われているかどうか知っていますか。

SA

		n	使用の有無を知っている	使用状況はわからない
全体		1000 100.0	328 32.8	672 67.2
自宅の種類	【集合住宅（マンション・アパート等）・その他】	550 100.0	142 25.8	408 74.2
	【戸建て住宅】	450 100.0	186 41.3	264 58.7

p値=0.00000

		(n)	使用の有無を知っている (%)	使用状況はわからない (%)
全体		(1000)	32.8	67.2
自宅の種類	【集合住宅（マンション・アパート等）・その他】	(550)	25.8	74.2
	【戸建て住宅】	(450)	41.3	58.7

5-2 自宅の所有形態と自宅におけるアスベスト建材の使用状況の認知度との関係

・住んでいる家は持ち家か、という質問に対して、「はい（自分名義）」を選択した人を【自己所有】、「はい（自分以外の名義）」、「はい（分譲マンション等の区分所有又は相続等による共有名義）」を選択した人を【家族所有・区分所有】とし、「いいえ（賃貸）」、「その他」を選択した人を【賃貸・その他】とした。

- ◆ 【自己所有】の方が、【家族所有・区分所有】及び【賃貸・その他】に比べ、自宅でのアスベスト建材の使用の有無を知っている割合が高かった。
また、【家族所有・区分所有】の方が、【賃貸・その他】に比べ、自宅でのアスベスト建材の使用の有無を知っている割合が高かった。（図表 5-2）

【図表 5-2】

Q11.あなたが住まいの家にアスベスト建材が使われているかどうか知っていますか。

SA

		n	使用の有無を知っている	使用状況はわからない	
全体		1000 100.0	328 32.8	672 67.2	
自宅の所有状況	【自己所有】	321 100.0	169 52.6	152 47.4	家族所有・区分所有との比較 p値=0.00000
	【家族所有・区分所有】	370 100.0	119 32.2	251 67.8	賃貸・その他との比較 p値=0.00000
	【賃貸・その他】	309 100.0	40 12.9	269 87.1	

		(n)	使用の有無を知っている (%)	使用状況はわからない (%)
全体		(1000)	32.8	67.2
自宅の所有状況	【自己所有】	(321)	52.6	47.4
	【家族所有・区分所有】	(370)	32.2	67.8
	【賃貸・その他】	(309)	12.9	87.1

5-3 自宅の建築時期と自宅におけるアスベスト建材の使用状況の認知度との関係

・住んでいる家はいつ建てられたか、という質問に対して、「2007年（平成19年）以降」を選択した人を【アスベスト使用等禁止後】、「1997年～2006年（平成9年～平成18年）の間」、「1987年～1996年（昭和62年～平成8年）の間」、「1977年～1986年（昭和52年～昭和61年）の間」、「1976年（昭和51年）以前」を選択した人を【アスベスト使用等禁止前】とした。なお、「不明・わからない」は除いた。

- ◆ 【アスベスト使用等禁止後】の方が、【アスベスト使用等禁止前】に比べ、自宅でのアスベスト建材の使用の有無を知っている割合が高かった。（図表5-3）

【図表5-3】

Q11.あなたがお住まいの家にアスベスト建材が使われているかどうか知っていますか。

SA

		n	使用の有無を知っている	使用状況はわからない
全体		841	315	526
		100.0	37.5	62.5
自宅の建築時期	【アスベスト使用等禁止後】	216	97	119
	【アスベスト使用等禁止前】	625	218	407
		100.0	34.9	65.1

p値=0.00867

		(n)	使用の有無を知っている (%)	使用状況はわからない (%)
全体		(841)	37.5	62.5
自宅の建築時期	【アスベスト使用等禁止後】	(216)	44.9	55.1
	【アスベスト使用等禁止前】	(625)	34.9	65.1

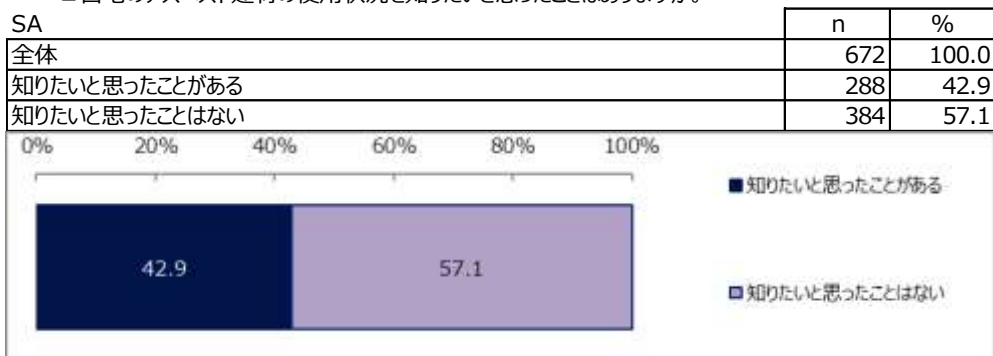
5-4 自宅におけるアスベスト建材の使用状況を知りたいと思った経験の有無

- ◆ 自宅におけるアスベスト建材の使用状況がわからない人のうち、自宅のアスベスト建材の使用状況について「知りたいと思ったことがある」は42.9%、「知りたいと思ったことはない」は57.1%だった。(図表 5-4)

【図表 5-4】

Q14. ■ 先程、「使用状況はわからない」と答えた方にお伺いします

- 自宅のアスベスト建材の使用状況を知りたいと思ったことはありますか。



5-5 自宅におけるアスベスト建材の使用状況を調査していない理由

自宅におけるアスベスト建材の使用状況がわからない人のうち、自宅のアスベスト建材の使用状況について「知りたいと思ったことがある」を選択した人に対し、アスベスト建材の使用状況を調査していない理由を聞いた。

- ◆ アスベスト建材の使用状況を調査していない理由は、「調査の方法・手続きが分からない (58.3%)」が最も多く、「自分名義の建物ではない、区分所有である等で、自分の判断では調べる事ができない (36.8%)」、「調査に係る費用面に不安がある (33.7%)」と続いた。(図表 5-5)

【図表 5-5】

Q15. ■ 前問で「知りたいと思ったことがある」と答えた方にお伺いします

- アスベスト建材の使用状況を調査していない理由は何ですか。(いくつでも)

MA	n	%
全体	288	100.0
調査の方法・手続きが分からない	168	58.3
調査に係る費用面に不安がある	97	33.7
自分名義の建物ではない、区分所有である等で、自身の判断では調べる事ができない	106	36.8
その他：	4	1.4
特に理由はない	44	15.3

